

# 第三次和光市食育推進計画 に基づく取組



令和元年度 第2回  
和光市食育推進コンソーシアム会議  
令和元年 8月6日 (火)

令和元年度 4～7月  
食育推進の取組進捗（報告）

# 計画に基づく食育コンソーシアム会議での推進内容と目標値

## 【推進内容】

- ①減塩・減糖・減脂を主とした発症の予防及び重症化の予防に重点を置いた取組
- ②セルフヘルスケアマネジメントおよび健康的な食生活の日常への定着と健康づくりを支援
- ③ライフステージや個人の健康度ごとの課題について事業を実施
- ④健康と食をめぐる現状と課題を共有し、事業を定期的かつ継続的に実施
- ⑤食文化の継承や地産地消の推進

## 【目標値】

	項目	現状値 (H28)	目標 (R9)
①	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日に2回以上ほぼ毎日食べている者の割合 (ほぼ毎日＝「毎日」+「週5～6日」)	68.7% (※1)	80.0% (※2)
②	食塩摂取量の減少	男性9.5g 女性8.6g (※1)	男性8.0g 女性7.0g (※3)

※1「平成28年 地域の絆と安心な暮らしに関する調査」結果より抽出

※2 目標値の設定は、「健康日本21(第二次)」に基づくものとする。

※3 目標値の設定は、「日本人の食事摂取基準(2015年版)」に基づくものとする。

# 令和元年度取組予定

対象ライフ	事業内容	関係事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
			★市民まつり・健康フェア													
全世代	店の食育充実 推進	スーパー	認定マークの活用の仕掛けづくり、レシピ配布による情報発信、コンシェルジュ実施													
		コンビニエンスストア	新規参加	認定マークの活用の仕掛けづくり、買い方プログラムによる情報発信、コンシェルジュ実施												
		食文化、農業関係	★緑化まつり	認定マーク、情報発信												
高齢期・病弱者等 リスク対応	リスクへのアプローチ	市担当課、相談支援機関、地域包括支援センター、子育て支援センター等	★特定健診スタート 健診結果返却会、重症化予防事業、関係機関との連携による推進等													
乳幼児期	世代別の周知	地域包括支援センター、子育て支援センター等	利用者への情報提供、相談受付、関係機関との連携による推進等													
関係機関	全世代への周知 食育推進計画の推進	食育コンソーシアム会議開催	●今年度の予定													
		絆・食育アンケート	●進捗評価、市民まつり・健康フェア企画 ○市民まつり・健康フェア実行会議													
		絆・食育アンケート	●総合評価、次年度予定													

# 令和元年度取組進捗【食育認定マーク】

## 食育認定マーク

※ 平成30年9月登録数 → 令和元年7月現在登録数

(更新時期) 7月：イトーヨーカ堂・いなげや 4月：ひまわり 3月：池田屋

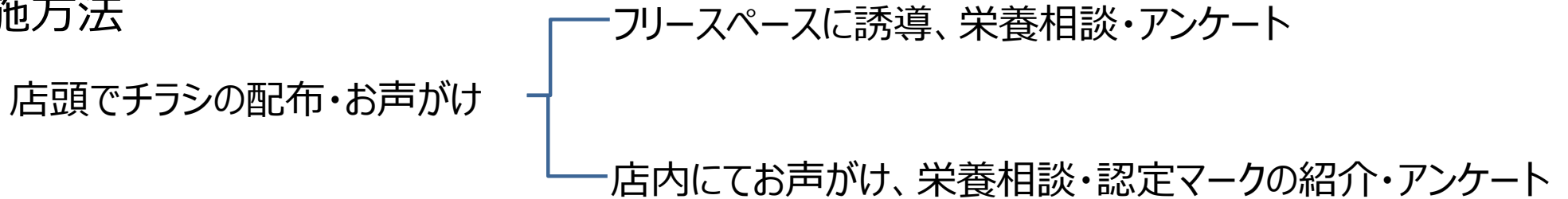
登録店舗 (13店)	登録商品 (587品)	減塩 (258品)	減糖 (116品)	減脂 (139品)	野菜たっぷり (94品)	わか産わか消 (11品)
イトーヨーカ堂和光店	192 →265	86→128	55→48	49→68	11→34	1→3
いなげや和光新倉店	183 →309	102 →127	37→66	26→71	19→59	1→1
駅前商店ひまわり	6→12	2→2	1→2		1→1	2→7
かつをぶし池田屋	1→1	1→1				

# 令和元年度取組進捗【買い物コンシェルジュ①】

〈事前配布チラシ〉

## いなげや様（共催）

- ・日にち 6月19・26日（水）
- ・時間 10：30～12：00  
14：00～15：30
- ・場所 いなげや新倉店 店頭、店内、フリースペース（受付）
- ・周知方法 5月よりレジカウンターにてチラシの配布及び掲示
- ・実施方法



〈配布チラシ ※参照資料1〉

〈アンケート用紙 ※参照資料2〉

# 令和元年度取組進捗【買い物コンシェルジュ②】

## 当日の様子

店頭・のぼり旗



店内 入口



店内 フリースペース



店内 売場

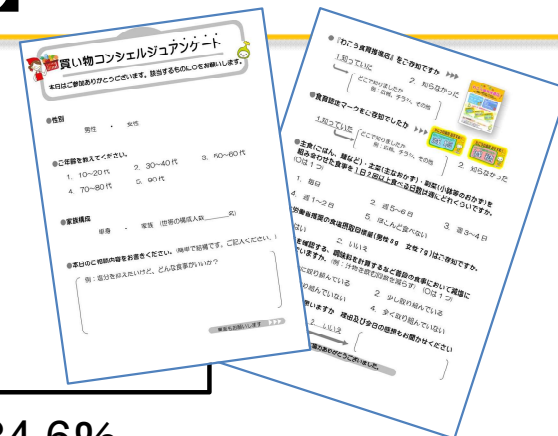


## アンケート結果（一部抜粋） 計46名実施/2日間

【性別】 男性：7名 女性：39名

【年齢】 ①30～40代：18名 ②70～80代：16名

【家族構成】 家族：35名 単身：3名



Q. 食育推進店を知っていますか はい：15.4% いいえ：84.6%

Q. 認定マークを知っていますか はい：17.8% いいえ：82.2%

Q. 食塩摂取目標量を知っていますか はい：59.0% いいえ：41.0%

Q. 減塩に取り組んでいますか

積極的に取り組んでいる：41.9% 少し取り組んでいる：18.6%

あまり取り組んでいない：14.0% 全く取り組んでいない：25.6%

Q. 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べている日数は

毎日：68.8% 週5～6日：6.3% 週3～4日：6.3%

週1～2日：18.8% ほとんど食べない：0%

### その他（参加者のご意見ご感想）

- ・チラシや塩分スプーンをもらえてよかった。
- ・日頃の食生活を見直すきっかけになった。
- ・すでに栄養指導を受けている。



### その他（事務局）

- ・10～30代は塩分に関する知識が少ない。
- ・40～80代は持病や健診結果を気にして減塩に積極的に取り組んでいる方が多かった。
- ・離乳食期のお子様を持つ親は食材や塩分について気を付けている方が多かった。





# 令和元年度取組進捗【体組成計測定会①】

## わこう暮らしの生き活きサービスプラザ様（主催）

- ・日にち 6月5日（水）
- ・時間 10：00～11：00  
13：30～14：30
- ・場所 わこう暮らしの生き活きサービスプラザ

〈配布チラシ ※参照資料3〉



〈栄養アドバイス配布チラシ ※参照資料4〉



## 個別栄養相談



# 令和元年度取組進捗【体組成計測定会②】

## アンケート結果 計22名

- Q. 食育推進店を知っていますか                    はい : 23.0%    いいえ : 77.0%
- Q. 認定マークを知っていますか                    はい : 14.0%    いいえ : 86.0%
- Q. 食塩摂取目標量を知っていますか                はい : 81.0%    いいえ : 19.0%
- Q. 減塩に取り組んでいますか
- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 積極的に取り組んでいる : 36.4% | 少し取り組んでいる : 40.9%  |
| あまり取り組んでいない : 9.1%  | 全く取り組んでいない : 13.6% |
- Q. 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べている日数は
- |            |                 |            |
|------------|-----------------|------------|
| 毎日 : 95.5% | 週5~6日 : 0%      | 週3~4日 : 0% |
| 週1~2日 : 0% | ほとんど食べない : 4.5% |            |

### その他（事務局）

- ・健康意識が高く、健康体の方が多かった。
- ・食塩摂取目標量やバランスの良い食生活を送っている方が多かった。また持病や肥満などで栄養指導が必要と思われた方は約5名程度いらっしゃったが、すでに何らかの取り組みを行っていた。
- ・食育推進店、認定マークを知っている方の割合が低く、啓発が必要。



# 令和元年度取組進捗【だし講座①】

## 北子育て世代包括支援センター様・池田物産様（共催）

- ・日にち 7月17日（水）
- ・時間 11：00～12：00
- ・場所 北子育て世代包括支援センター
- ・対象者 0歳～未就学児の家族（20世帯）
- ・講座内容 タイトル：「こころ」と「からだ」を癒す本物のおだし体験しませんか？  
①かつおぶしについて ②うまみ成分や化学調味料について  
③天然だしのこころもからだも癒される効果について  
④簡単だしの摂り方実演・試飲

〈配付チラシ ※参照資料5〉

性別	生活習慣病の予防	子供の健康
男性	8g未満	3～4g未満
女性	7g未満	

あなたの1日の塩分はどれくらいですか？  
食塩に含まれるナトリウムは、血管を収縮させるため血圧をあげるとなりやす。高血圧は、脳卒中や心臓病の原因になります。多くは丈夫、でも未来のために食塩・減塩を意識しませんか？

1日1g減らしてみよう ※しょうゆ、小さじ1杯＝食塩1g

外食、レトルト食品、加工食品を控えるために

かける、から、つけるに

このポスターの貼る必要はありません

「カロリーや塩分を抑えない方、野菜不足が気になる方へ」  
「忙しいから減塩や減塩が難しい」  
「どうしても減塩から減塩が難しい」  
市では、健康増進を無断なく続けるよう、健康に配慮した商品やメニューを、市民の健康を第一に、開発する取組を進めています。

このポスターの貼る必要はありません

店舗のPOPやフライヤーにある「わここのマーク」が目印です！  
食塩や料理を選ぶときの参考に、ご自身やご家族の健康づくりに役立てましょう！



〈当日の様子〉

# 令和元年度取組進捗【だし講座②】

## アンケート結果 計19名

### 【年齢】

①30～40代：16名

②10～20代：3名

Q. 食育推進店を知っていますか

はい：21.1% いいえ：78.9%

Q. 認定マークを知っていますか

はい：31.6% いいえ：68.4%

Q. 食塩摂取目標量を知っていますか

はい：36.8% いいえ：63.2%

Q. 減塩に取り組んでいますか

積極的に取り組んでいる：36.9%

少し取り組んでいる：47.3%

あまり取り組んでいない：10.5%

全く取り組んでいない：5.3%

Q. 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べている日数は

毎日：57.9%

週5～6日：15.8%

週3～4日：10.5%

週1～2日：5.3%

ほとんど食べない：10.5%

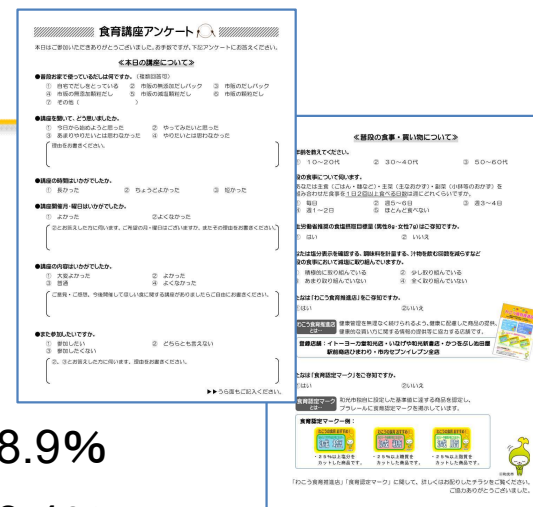
### その他（参加者のご意見ご感想）

- ・今日から始めようと思った。（47%）
- ・やってみたいと思った。（53%）
- ・おいしいご飯を作ってあげようと思った。
- ・だしを楽しむ事を忘れていた。
- ・普段の味付け、だしのとり方に不安があったので参加した。
- ・気軽にだしがとれると思った。
- ・自分で作る体験もしてみたい。



### その他（事務局）

- ・バランスの良い食生活を送っている方が多く、食育推進店や認定マークの認知度も高かった。
- ・40代以降に比べ食塩摂取量の認知度は低かったが、離乳食期の子どもと一緒に減塩に取り組んでいる方が多かった。
- ・6月の広報で周知した時点から問い合わせが多く、需要がある講座内容だった。



〈アンケート用紙 ※参照資料6〉



# 令和元年度取組進捗【計3回のアンケート結果より】

- 食育推進店を知っている者の割合 19.8%
- 認定マークを知っている者の割合 21.1%

計87名の  
アンケート結果



⇒食育推進店・認定マーク共に知っている者の割合は約2割。  
今後の取組や健康フェアにおいて引き続き啓発を行う必要がある。

- 食塩摂取目標量を知っている者の割合 58.9%
- 減塩に取り組んでいる者の割合 74.0%  
(「積極的に取り組んでいる」+「少し取り組んでいる」)

## 【目標】

減塩に取り組む者の割合 H29 50.0% (H28絆調査より) → H39 60.0%

⇒40代以降の方は健診や情報番組などにより塩分に関する知識が豊富であるが、間違った捉え方や自己流での食生活改善を行っている方が多く見られる。個別相談や健康教室などで正しい情報提供が必要。

⇒20～30代の方は家族の事を考え、より良い食生活を送ろうとしているが、明確な数値など知識が乏しい。食生活を見直すきっかけづくりや各関係機関、乳幼児健診で啓発を行う必要がある。

- 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を  
1日2回以上ほぼ毎日食べている者の割合 81.4%  
(ほぼ毎日＝「毎日」+「週5～6日」)

## 【目標】

バランスよく食べる者の割合 H29 68.7% (H28絆調査より) → H39 80.0%

⇒朝・昼食は簡単に済ませてしまう方や単身の方は難しい数値となっている。

食育推進店における買い方プログラム、バランス弁当、調理済み商品の普及や時短料理レシピなどの情報提供が必要。

## 広報（6月：食育月間）

### 6月は「食育月間」です!

☎健康保険医療課 ヘルスサポート担当 ☎465-0311

食育とは、生涯通じて「食を選ぶ力」と「食べる力」をはぐくんでいくことです。

「こころ」と「からだ」を癒す本物のおだし体験しませんか。

今年度は北子育て世代包括支援センター、南子育て世代包括支援センターで、子育て世代向けに「かつをぶし池田屋」による“普段使いの天然だし講座”を行います。だしソムリエが天然だしの簡単な取り方から活用術までわかりやすくお話しします。ぜひご参加ください。

わこう版食育では、食からの健康づくりと疾病予防のために「おいしく食べて、減塩・減糖・減脂」を目指しています。商品選びや献立づくりにご活用ください!

#### ● 買い物コンシェルジュ

6月19日・26日にいなげや和光新倉店で管理栄養士による「買い物コンシェルジュ」を予定しています。ご来店お待ちしております。

#### ● 店頭でのレシピ提供

毎月19日(食育の日)にイトーヨーカ堂和光店では減塩・減糖レシピを試食・提案しています。

#### ● 食育認定マークでのPR

イトーヨーカ堂和光店、いなげや和光新倉店、農業後継者倶楽部、かつをぶし池田屋、駅前商店ひまわりでは、食育を推進するおすすめ商品を提供しています。

けんこう大使のわこうっちが目印!



## 令和元年度 健康ガイド（成人版）

※6月上旬に全戸配布

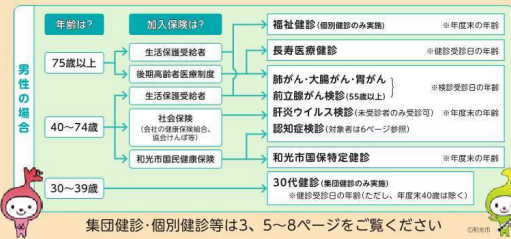
1年間大切に保管してください

### 令和元年度 和光市 健康ガイド 成人版

お問い合わせ：和光市 保健福祉部 健康保険医療課 ヘルスサポート担当  
電話：048-424-9128 FAX：048-465-0557  
住所：〒351-0106 和光市広沢1-5 (和光市保健センター内)  
E-mail：d0400@city.wako.lg.jp

#### あなたが受けられる健(検)診確認チャート

※当ではまる内容の矢印に入ってください※健(検)診の対象年齢について※和光市国民健康保険・肺炎ウイルス検査・福祉健診は年度末年齢(令和2年3月31日時点の年齢)※がん検診・30代健診・長寿医療健診は健(検)診受付日の年齢となります。



集団健診・個別健診等は3、5～8ページをご覧ください

#### その他の健康づくり事業

##### ● 健診後に受けよう ●

##### がん検診後の精密検査受診状況の確認

がんは日本人の死因の第1位で、3人に1人が「がん」で亡くなっています。また、がんは、症状が出にくく、進行が早いことが多いため、検診で精密検査となった場合には早めに精密検査を受けて、がんの有無を確認し早期治療につなげることが大切です。そのため、がん検診結果が精密検査となった人で、医療機関から当該へ精密検査の結果連絡票の返信がない場合には、精密検査を受けたかどうかの確認の手続き(11月～令和2年6月)にかけてお送りします。精密検査となった場合、必ず精密検査を受けましょう。

##### メタボリックシンドローム予防のためのプログラム

対象者：和光市国民健康保険の受診結果が「総動脈硬化リスクが高い」または「軽度のメタボリックシンドローム」であった人  
※対象者には、個別プログラムの案内をお送りします。

参加費用：無料  
内容：保健師または管理栄養士が、内臓脂肪を減らして無理なく減量する方法をアドバイスします。  
※和光市国民健康保険に加入され、検診や検診結果など健診(または検診)を受けた人は、市へ特定健診検査結果の届出をされた方となります。このプログラムに参加する場合は、検診結果が必要となりますので、お早めにご連絡ください。

市の特定健診を受けた方で、糖尿病の可能性がある方に、受診を勧める通知を送付します

糖尿病は自覚症状が出ていなくても、徐々に全身の血管を傷つけて、網膜症等の大きな合併症につながる可能性があります。市では、特定健診等の結果から、糖尿病が疑われる方を対象に、個別通知をお送りします。ご通知が来た段階で、医療機関を受診していない方は、早めのご受診をお勧めします。

マイレージ用歩数計(無料)ご希望の方は保険証のコピーをお持ちの上、詳しく歩き続けて健康とポイントを増やしましょう!

わこうの食育

健康管理を無理なく続けられる食育講座をめぐらし、公民館員で食育の推進を行っています。併せて、わこう復興推進室では健康に配慮した商品や買い方の情報提供を行っています。

体温計

このころの体温計は、落ちた温度を簡単にチェックできるタイプです。(メタボチェックも併用)任意の設計により対応の保証書にアクセスできます。★携帯電話の場合は、フルブラウザでご利用ください。

ヘルスサポート養成講座

ヘルスサポートとは、健康づくり市民ボランティアです。自分や家族の健康維持管理のための生活習慣病・栄養・運動・お口の健康等、各分野の専門家による講座です。(認知症サポート養成講座も含まれています)その他、人や地域をつなぐについても考えます。講座は年2コース(9月と1月の予定)です。

#### 休日や夜間の急な病気やけがの時の連絡先

■日曜休日当番医 (診療時間) 午前10時～午後8時  
新築地区居合会が当番医により日曜・休日の診療を行っています。  
※広域「わこう」に月ごとの日程を掲載します。

■救急電話相談 ☎7119または☎048(824)4199  
音声ガイダンスに応じて、相談したい窓口が選択できます。  
①子どもの救急電話相談  
②大人の救急電話相談  
③医療機関案内(子ども・大人に対応しています)  
(相談時間)24時間365日  
※8000または☎048(833)7911(子どもの相談)から電話をかけられます。

■救急医療情報案内  
休日・夜間などに診療を行っている医療機関(市内及び近隣の診療状況を音声ガイダンスにより案内しています)。  
・消防本部 災害・病院案内専用ダイヤル ☎048-465-8181  
診療できる病院を24時間体制で案内しています。  
(無料・医療機関は無料) ・埼玉県救急医療情報センター ☎048-824-4199(代)

■新築市休日当番医診療所 ☎048(41)2211  
(朝 陽)新築市道徳2-14-4(新築市保健センター内)  
(受付時間)午前9時～13時30分 ※急病のみ  
(持参するもの)健康保険証 (新) 金庫健康保険証の所持者  
(診察 日)毎月(注)を詳しく、1月30日、12月31日、1月3日

〈※参照資料7〉

食育コンソーシアム会議での取組を紹介!!  
QRコードを掲載し、アクセスすると和光市ホームページ「わこうの食育」を見ることが出来ます。

「令和元年度健康長寿優秀市町村表彰」受賞市町の長と知事との意見交換会

**優良事例学び合い底上げを 上田知事**  
 上田清司知事は、令和元年度健康長寿優秀市町村表彰式で、受賞市町の長と意見交換した。上田知事は、受賞市町の取り組みについて、大変素晴らしい取り組みだと評価し、他市町村にも学びたいと述べた。また、健康長寿の取り組みを通じて、地域活性化や人材育成にもつながると期待を寄せた。

**市町村と連携して取り組む**  
 市町村と連携して取り組むことで、健康寿命の延伸と医療費抑制を実現している。各自治体の取り組みは、それぞれ特色があり、他自治体にも学ぶべき点が多い。特に、地域住民の意識向上と主体的な参加が鍵となっている。



# 市町村と連携して取り組む健康寿命延伸と医療費抑制

令和元年度 表彰市町村一覧

優秀賞	市町村	事業名
優秀賞	鴻巣市	ある湯・けん幸・気分彩濁！
	川口市	健寿（健康長寿）ウォーカー頂上決戦
	川越市	ミムリン健康ポイント事業
	川口市	平成24年度健康長寿ウォーカー頂上決戦
優良賞	市町村	事業名
	川口市	めざせ伸びしろのばして健康長寿
	川口市	から改変型ウォーキング講座
	川口市	よりいプラス1000歩運動

**和光市**  
**特別賞**  
**健康管理！**  
**買い物ついでに**

和光市では、平成30年度から市民が健康管理を無理なく続けられる食環境づくりを目指し、29企業・団体と協働で食育を推進する「わこう食育推進店事業」を行っています。

この事業は、市独自の基準に該当する商品に減塩・減糖・減脂・地産地消等の認定マークを掲示し、健康に配慮した商品やレシピなどが分かるようにしています。

市民は身近なお店で健康に良い商品が分かるので、健康に関心が低い方や通りがかりの市民にも食や健康について、考えるきっかけになります。

今後も、市民がセルフマネジメントできる食環境づくりを推進していきます。

「令和元年度健康長寿優秀市町村表彰」受賞市町の長と知事との意見交換会

仲間と共に身心若返り！川島市 コツコツ続けてはつらつ生活 秩父市

**楽しく歩いてポイント貯めよう!**  
**参加無料**

毎日歩くとポイントが貯まり、様々な特典が待っています。健康増進と地域活性化を同時に実現する取り組みです。

**優良賞**  
**山崎正弘町長**  
 山崎正弘町長は、受賞について、市民の健康意識の高まりと、地域住民の協力が功を奏したと述べた。今後も健康長寿の取り組みを継続していく方針を示した。

**特別賞**  
**小島野町**  
 小島野町長は、受賞について、地域住民の主体的な参加が鍵となったと述べた。今後も健康長寿の取り組みを継続していく方針を示した。

**特別賞**  
**毛呂山町**  
 毛呂山町長は、受賞について、健康長寿の取り組みを通じて、地域活性化や人材育成にもつながると期待を寄せた。

**特別賞**  
**三芳町**  
 三芳町長は、受賞について、健康長寿の取り組みを通じて、地域活性化や人材育成にもつながると期待を寄せた。

「令和元年度健康長寿優秀市町村表彰」受賞市町の長と知事との意見交換会

仲間と共に身心若返り！川島市 コツコツ続けてはつらつ生活 秩父市

# 健康フェアでの普及イベントの企画について（案）



# イベント概要（案）

わこう版食育の普及、認定マークの一斉PRを集客力のあるイベントにて実施

【タイトル】 はじめよう、見直そう、食生活！～減塩から適塩へ～（仮）

【目的】 食育の啓発・意識づけ、健康づくり実践のきっかけづくりを行う。  
「わこう食育推進店」「認定マーク」の認知、普及を図る。

【日時】 令和元年 11月10日（日） 10:00～15:00

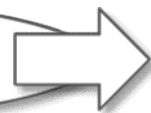
【場所】 和光市保健センター  
（市民まつり・健康フェア）

【主催・運営】 主催：和光市 保健福祉部 健康保険医療課  
運営協力：食育推進コンソーシアム会議構成員、  
ヘルスサポーター

【内容】

## 1. 食の大切さ、健康への影響の伝達

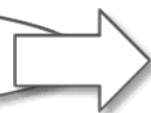
自分の食生活の振り返り



- ・食事相談
- ・各出店ブースでの健康・栄養情報の発信

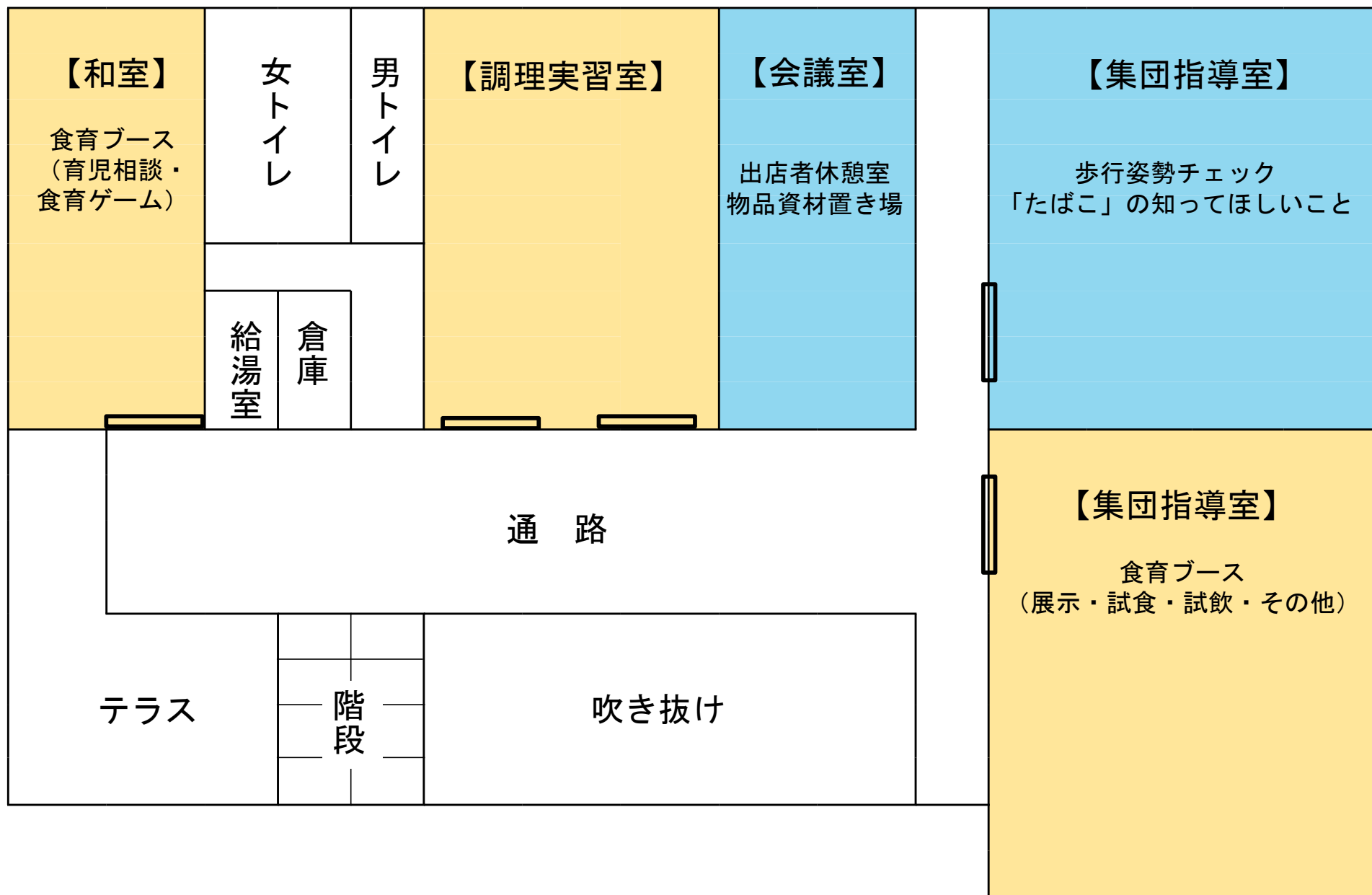
## 2. 実践方法の認知、習得

具体的方法の提案



- ・適塩商品の試食・試飲
- ・各拠点での取組や商品の展示、PR
- ・各出店ブースで認定マークのPR

# 会場図（保健センター2F）（案）



※保健センター1F入口に食育ポスター掲示予定

# イベント企画（食育または独自ブース内）（案）

## 食育ブース対面での企画

事業所名	子育て世代包括支援センター	朝霞保健所管内栄養士えぷろん	健康保険医療課
事業名	赤ちゃん休憩室、育児相談	適塩商品の試食提供	わこう版食育の啓発、適塩だし汁の試飲提供
目的	児の発育発達、健康増進	商品提案と調理法の情報発信	会議での取組を知ってもらい食生活を見直すきっかけ作り
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児の計測</li> <li>・発育発達相談</li> <li>・栄養の相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適塩商品の試食提供</li> <li>・食事法や栄養のアドバイス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適塩だし汁の試飲提供</li> <li>・食育認定マーク商品の紹介</li> <li>・減塩減糖レシピの配布</li> </ul>
対象者	乳幼児	全世代	全世代
当日運営	2～3名	1～2名	4～5名
必要物品	座卓3台、身長体重計、座布団、カーテン	長机1台・セブンミール・紙皿・フォーク・大皿・トング・ビニール手袋、麦茶パック、紙コップ、ジャグ	長机1台・保温ポット・紙コップ・顆粒だし・味噌・ビニール手袋・認定マーク商品 (9)

## 独自出店ブースでの食育PR

### 事業所名

和光市農業後継者倶楽部

駅前商店ひまわり

わこう暮らしの生き生きサービスプラザ

すたんど・あっぷ和光

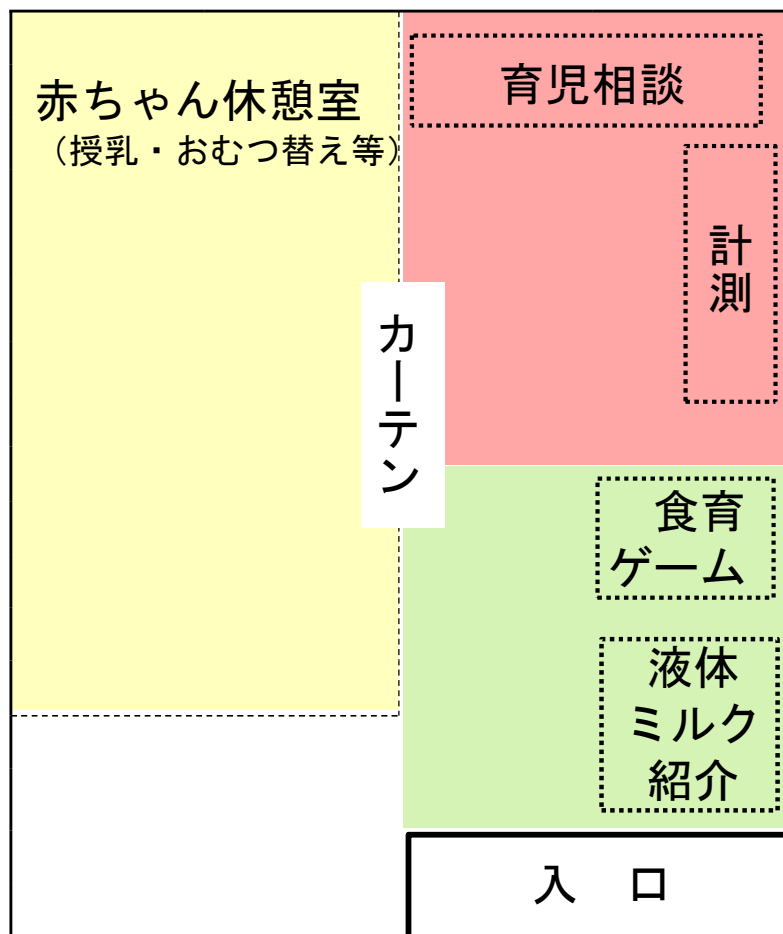
生活介護施設ゆめちか

# イベント企画（パネル・商品の展示等）（案）

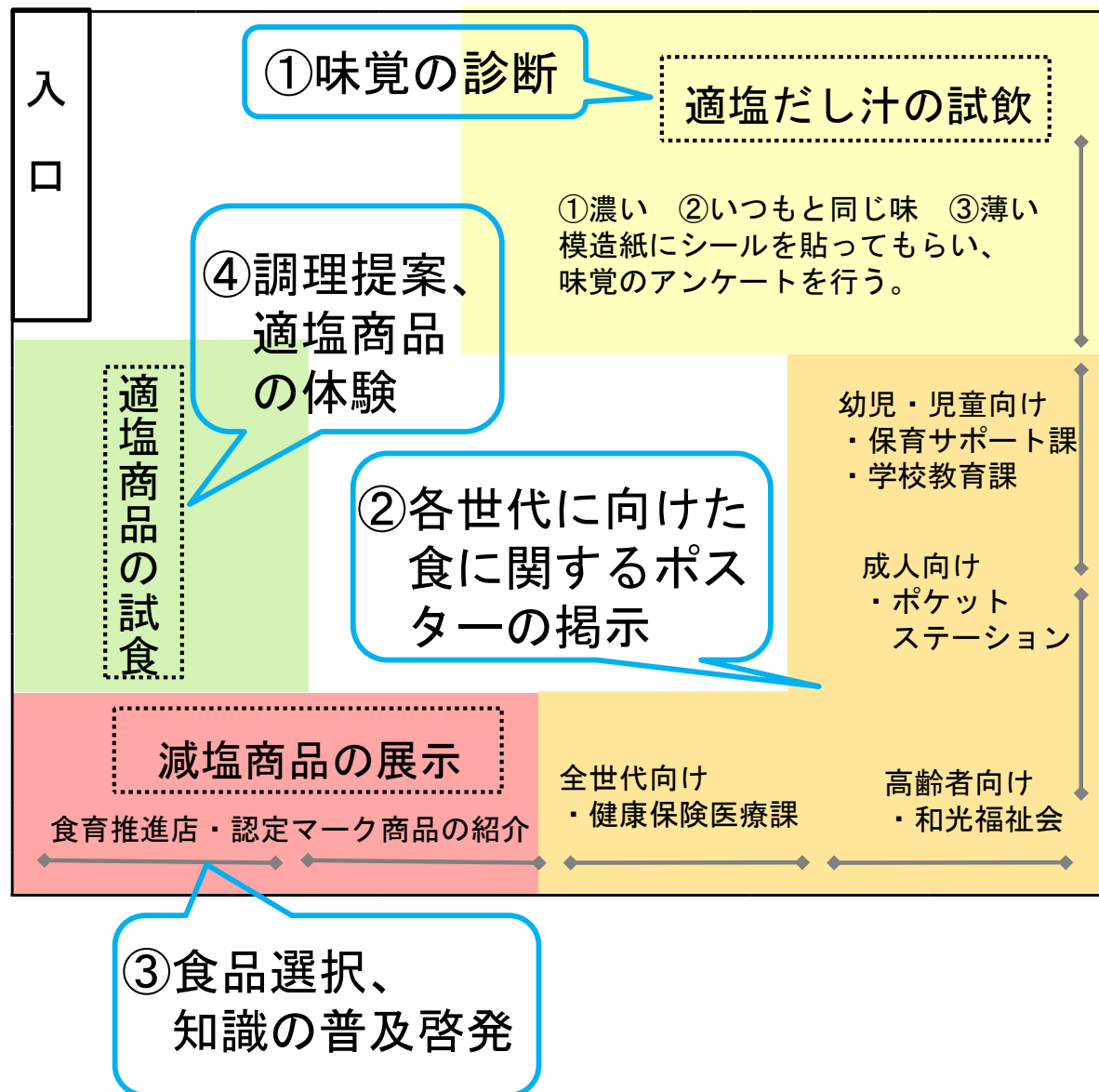
事業所名	保育サポート課・学校教育課	ぽけっとステーション	わこう福祉会	イトーヨーカ堂和光店	いなげや和光新倉店	セブン-イレブン
事業名	おやつについて・朝ごはんについて	見直そう、毎日の食生活	高齢期の栄養の摂り方	認定マーク商品の紹介		セブンミールの紹介
目的	健康を保つための食生活の情報提供	健康を保つための食生活の情報提供	高齢期を元気に過ごすための食事の摂り方について情報提供	認定マーク商品（減塩）の紹介および情報提供	認定マーク商品（栄養バランスOK）の紹介および情報提供	健康バランスシリーズの提案および情報提供
内容	「上手なおやつのとおり方について」「子どもの食育朝ごはんの大切さを知ろう」と題したポスターを掲示（模造紙3枚）※昨年のポスター使用	「バランスを考えた基本の食事」「減塩を意識した食事のための簡単工夫」「健康と食生活」と題したポスターを掲示（模造紙3枚）※昨年のポスター使用	「腸の健康・脳の健康」と題したポスターを掲示（模造紙2～3枚）			試食用にセブンミール商品の提供 企業パネルの掲示
対象者	乳幼児・児童とその保護者	成人	高齢者	全世代	全世代	全世代
当日運営	—	—	—	—	—	1～2名
必要物品	パーテーション4～5個			長机2台程度・認定マーク商品		セブンミール・商品紹介パネル

# 食育ブースレイアウト（案）

## 【和室】



## 【集団指導室】



# 当日までのスケジュール（案）

項目	9/17-20	9/24- 27	9/30- 10/4	10/7-11	10/1 5-18	10/21 -25	10/28- 11/1	11/5-8	11/10 (当日)
企画確定	○18日 広報								
制作物の内部 作成				○ 各展示・配 布物の作成			○ 当日展示物 提出		
必要備品の手 配				○ 既存物品 手配、発注			○ 不足物品手 配		
運営会議		○ 試食試作 ○ 検便提出	○ 担当者 部会					○ 役割分担 最終確認	
準備・会場設営								○8日 配置設営	○ 8:30~準備
当日運営・撤去									○ 10~15時 16:30終了

# 来場者目標と実施効果見込み（案）

「わこう食育推進店」の認知と、食に関する知識の普及を第一段階として、ツール（食育リーフレット）配布数を目標値とする

●達成目標数値 （※和光市人口約83,445人、世帯数約41,665世帯 6/1現在）

✓認知目標数 800名(世帯) 和光市全世帯の2%

✓市民まつり来場予測

- ・食育ブース（保健センター内）300名
- ・各拠点出店ブース（5ヶ所）500名

【昨年度 配付実績】  
市民まつり配布数 529枚  
+ 各事業配布数 937枚  
= 1466枚（全世帯3.56%）

【カウント方法】

- ・統一のツール「食育リーフレット」の配布数で来場者数をカウントする。  
保健センター食育ブース及び各拠点出店ブースでの配布数を合算。

